

消費者と提携し地域農業を守る

下郷農協



2019

4 No. 692

April



料理会のあと食事をしながら会員交流

『産直の会』が食料・農業などで意見交換

農業者の所得増大と農業生産の拡大 地域に貢献するための『変化と挑戦』

代表理事組合長 矢崎 和廣



厳しさを増す農業・農協潰し

安倍首相は、自らグローバル化を目指す総仕上げとする第四次自公政権において、昨年末T P P、今年2月1日には日欧E P Aの発効をしました。

これにより、将来農畜産物や工業製品の95%以上の品目で関税が撤廃され、自公政権を支持する輸出大企業には追い風になります。海外から安い農畜産物が入り日本の農業は一層厳しい環境となります。

併せて、10月より消費税率が10%に引き上げられ、私たちの生活に一層の不安と負担を強いるものです。

更に、政府が進める「農協改革集中推進期間」は「農協改革」と相まって、それぞれの農協が今後も現状のまま進むのか、金融事業を切り離す経営とするのか、合併を目指すのかを総会で表明させ、追い詰めていくも

ので、農協は農業に邁進すべきという「農協改革」を投げ掛けながら、100兆円を超えるJ A貯金を巡って農協の弱体化、農協潰しを進めるものです。

『家族農業の10年』がスタート

「家族農業・小規模農業の役割を重視し、各国が支援しよう。」—今年、国連が呼びかけた『家族農業の10年』（2019～2028年）がスタートしました。日本が国連の呼びかけを真剣に受け止め、農業・農村の危機的状況を打開するためには、家族農業を中心に農村の再生、食料自給率の向上を考える事は、国際社会に対する責任です。

また、昨年末の国連総会は、小規模・家族農業の役割を後押しする枠組みとして「食料主権」「種子の権利」などを定めた「農民の権利宣言」を採択しています。

一連の流れは、飢餓や貧困の克服、環境保全など人類が直面する課題を解決し、持続可能な世界を展望する上で家族農業の役割が欠かせないことが、世界の共通認識になっていくことを示しています。

安倍政権は『家族農業の10

年』に賛成しながら、現実には推進しているのは真逆の農業と、家族経営の切り捨てです。

「競争力強化」を口実に大規模化・企業参入を最優先し、農協や農地制度、種子法など戦後の農業や家族経営を守ってきた諸制度を壊してきました。

日本の農業経営の98%は大小多様な家族経営であり、国民の食料供給の大半を担い、中山間地を含めて国民の暮らし、国土や環境を守ってきました。

家族農業の重要性を再認識し守っていく事が地域農業を守り、農業者の所得増大や生産の拡大に繋がっていくと考えます。

生産者が誇り持つ農業に

下郷農協は「消費者と提携し、地域農業を守る」の理念を掲げ、有機農業を基本とした「安心・安全」な農畜産物を直接お届けする「産直事業」を柱としています。

この取り組みを消費者の皆様にご理解頂き、今まで以上に産直商品をご利用頂けるように努めて参ります。

下郷には多くの移住者の皆さんが来られています。

移住を決めた大きな要因の一つが「食べもの」だと話されています。その「食べもの」を生産しているのが下郷農協の組合員であり、生産者の皆さんです。

これまでの取り組みに自信を持ち、これまで以上に有機農業や「安心・安全な食べもの」の

生産に誇りをもつて取り組めるように、農協としてその環境づくりをしていかなければならないと思います。

背水の陣に臨む2019年度

下郷農協は中長期計画（10ヶ年計画）の中間、5年目に入ります。「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」は成果に至らない大きな課題です。

この間、減少する生産者や生産の維持・拡大に出来る手立てを講じてきましたが、進捗には至っておらず、何とか現状維持で推移しているのが現実で、買い取り価格の調整等による「所得増大」を「農業生産の拡大」に繋げるとともに、販売価格の見直しや事業の効率化などにより農協経営を安定させる必要があります。

併せて、引き続きライフラインの役割を果たし、地域に必要なとされる農協を目指します。

以上の状況をふまえ、2019年度の取り組み目標を「変化と挑戦」とし、目まぐるしく変わる外部環境の変化に目を背けることなく、これまで通りに事業を進める状況ではないという危機感を役員が共有し、今年度「背水の陣」の想いで、農協の存在意義や事業面でのプラス要因には変化を恐れずにつかると挑戦し、成果に結びつけたと思います。

父母の会と農協が農畜産物を販売

門司こばと幼稚園で恒例の『郷の市』

2月16日、北九州市門司区にある門司こばと幼稚園の『郷の市』に参加してきました。門司こばと幼稚園は、「心身の健全な発達を図り、明朗で気迫に富み、情操豊かな子どもを育成し、

また、個性を尊重する保育を行う」という教育方針で取り組みをされています。園庭には自然がいっぱいでツリーハウスもあります。給食では農協の農畜産物（お米・お肉・野菜など）が使われています。

だき、おかげさまで早々に完売となりました。

これからも、安心・安全な農畜産物を子ども達の給食に提供できるように頑張っていこうと思います。

(Y)

『郷の市』では、父母の会の役員さんが喫茶コーナーをつくり、農協商品を宣伝・販売して頂き、たかさんの保護者の方が喫茶コーナーを楽しんでいました。

屋外では「おおいた冠地どりの炭火焼」を販売、大変好評をいた



父母の会の会員さんが喫茶コーナーで農協商品を宣伝・販売

こんにちは！デイケア元気村です

春風が心地よい季節となりました。

デイケアでは、お楽しみレクリエーションで桜の壁飾りを作りました。

ペーパー芯を切って作った桜です。

ペーパー芯の上端を内側に少し折り込んで全体に丸みをもたせ花びらの形に整え、利用者さまは器用に指先を使い綺麗に貼り合わせ花の形にしてみました。そして台紙に色画用紙や折り紙や千代紙を貼り、その上に花の形をしたペーパー芯をボンダ

で貼り付け完成させました。リボンをつけ、ご自宅に持って帰りました。

出来上がりを見てとても良い、かわいいと喜ばれていました。

デイケア元気村

56-2385

当番医のお知らせ

4月14日(日)9時～17時、下郷診療所は日曜当番医です。

TEL 56-2631



落会 集常

事業運営に対し組合員から幅広い意見

（組合員が主人公の農協運営を進めるために）

3月5日・6日、各地区で今年度三回目の一斉集落常会が、戸別訪問を含めた組合員90名（昨年同期100名）の出席で開催されました。常会では農協から、2018年度決算見込み（概要）についての報告・説明と2019年度事業計画（案・概要）について、「我が家の生産計画」策定についての提案説明、各部署からのお知らせ等を行い、組合員から69件（昨年58件）の貴重な意見・要望が出されました。

今回の集落常会では、引き続き厳しい生産・経営環境の中、貸倒引当金の戻入益を含めた税引前当期利益金の黒字決算見込みや、10カ年計画の5年目となる次年度事業計画案の報告・説明を行い、組合員から結びつき強い指導販売部門や購買部門をはじめ、多岐にわたる積極的な意見・要望が出されました。

本稿ではこれらを中心に、組合員から出された意見・要望の一部を紹介いたします。

個別に回答の必要な事案については、別途担当者より回答します。

（f）

【管理・総務部門に関して】

・決算見込について、最終的に黒字は良いのだが事業利益でも黒字になるようにしないと、戻入益もいつまでもあるわけではないのだから・・・。

↓集落常会でご報告した決算見込み数値は、信用事業譲渡に伴う事業管理費等の科目変更前の見込値としてご説明させて頂きました。約28,000千円の貸倒引当金戻入益を含めても事業利益ベースで

ままという事で、手数料はかからない事となりました。今年4月からの信連為替手数料の改定においても減免対象となっています。

【購買部門に関して】

・ふれあいの店で買い物をしてレシートをもらっても、何を買ったか分からないので品名が出るようにはできないか。

↓農協商品の大半は品名表示が記載されますが、一般の食品・日用品等、現状のシステムでは細かく出ない商品もありますので、ご了承いただきたいと思います。

・購買について、現在は2,000円でポイントのスタンプを押しているが、1,000円にしたほうが来客が増えるのではないか。1枚に2,000円でスタンプ25個ならば1,000円で50個にしたらどうか。

↓現在、平均客単価が約1,700円になっていきますので、客単価確保のため2,000円に設定しています。

・購買部の移動販売について、デイサービスと町内数か所の販売先から移動販売先を拡大してはどうか。待っていても売り上げは伸びないので。

↓「来年度の市の助成金枠は決まっています。実績を積み重ねて来年度助成金枠の予算が増



両畑集落の常会の様子

える事もあるので、限られた人員のなかですが積極的な販売に取組み、拡充するなかで体制整備も図ります。

・購買について、衣料は売れていないのではないか。高いのと田舎向けの衣料品ではない。内容の検討を行い安い衣料品を置いてほしい。もし入荷できず今のままなら置かなくてよいのではないか、売れていないと思う。

↓前の卸店も価格は大手メーカーに太刀打ちできずに辞めました。少ないなりに一定のご利用があり、また、商品は消化仕入れでの取引のため、引き続き置いていきたいと思えます。

【診療所に関して】

・診療所での健診の内容を教え

て欲しい。

↓健診の内容は、検尿・胸部写真・腰部写真・心電図・採血があります。75歳以上の高齢者は中津市から4・5月頃にハガキが届き、2,000円〜3,000円位で受けられます。75歳未満の方は中津市から封筒が届き、6,000〜7,000円位で受けられます。(国民健康保険の方) 社会保険の方でも検診は受けられますが補助はありません。国民健康保険の方で、ハガキ・封筒が無くても受けられますが、補助はありません。料金は内容によって前後します。

【指導・販売部門に関する】

・事業計画(素案)に『変化と挑戦』とあるが、高齢化が進



鎌城集落の常会の様子

み耕作放棄地が多くなるなかで農協自体が農業をして耕作放棄地削減をするような取り組みをすべきなのではないか。補助金も絡めて考慮したらどうだろうか。

↓各生産組合とも新規生産者獲得の取り組みや生産の環境整備を行っています。なかなか結びついていない現状があります。農協が直接農業生産に携わる内容も含め、今後生産の維持・拡大に取り組みでいきます。

・決算見込で事業利益が△319万円ということだが原因は生産量の減少と思う。生産者の高齢化や人員不足もある。野菜組合もお客さんから注文はあるが、50%しか出せていない。注文をしてもダメなら注文がなくなる。大変な問題なので早急に対応策を考えてほしい。

↓農畜産物は全般的に生産者の高齢化等により生産量が減少しており、農協としても生産を増やす事が課題となっています。野菜生産については、冬・春にかけて気候的な条件もあり生産が必要を下回っています。生産量確保については、農協と生産組合また行政とも連携しながら生産環境の整備に取り組み、生産の拡大・新規生産者の確保に努めます。

・お米と野菜を生産しているがどのような方面に販売しているか知りたい。また、消費者から食べた感想を聞いて新聞などに掲載してほしい。意見を聞いた方が生産する意欲が増すから。

↓米については、産直消費者・宅配のお客様・保育園・店舗などが主な販売先になります。野菜については、産直消費者・生協・宅配のお客様・保育園・店舗などが主な販売先です。

消費者の感想についてはアンケート等を活用し、集約して生産者にお伝えするようにします。

【加工・その他部門に関する】

・飲むヨーグルトはどんな感じですか。

↓上半期はほぼ計画通りの販売実績で推移しました。下半期からは大幅な伸びを計画していましたが、大口取引先での販売が計画見込みを下回ったため計画比60%程度の推移です。

引き続き販売促進に取り組みます。

・惣菜工場商品のラッキョなど生産者に急に出してほしいと言われても、植えてから1年間かかる。工場で製品を作るのに必要な数量など予め予測して、生産者に作らせないと。

販売部との連携が出来ていないのでは。

↓販売動向等を十分に見定め、計画的な生産・販売となるよう関係部門とも連携を密に図りながら対応に努めます。

・農協新聞は他からの情報掲載が増えたが、地元の頑張っている生産者取材して簡単な紹介等掲載してほしい。文字も大きくしてほしい。

↓少なくとも年3〜4回は各生産者の情報を掲載し、産直消費者等へ生産現場の声を伝えられるよう取材・編集に努めますので、引き続き小さな小さな情報・トピックスでも構いませんので、編集部門や現場の営農指導部門・担当者へ情報をお寄せください。

また文字の大きさについても、紙面の制約はありますが出来る限り見やすい紙面づくりに努めます。

・農協新聞に掲載されている、体を動かす(運動)ページが良かった。

↓これからも身近な新聞として生産者・農協・消費者の情報や、読んで楽しいお役に立つ情報など、先ず手に取って見てもらえるよう、様々な情報掲載・編集に努めます。

健康米生産で環境保全の取組強化

役員改選は組合長に鷹崎満行さん選出

健康米生産組合が総会

2月16日、健康米生産組合（鈴木健久組合長・会員20名2法人）の総会が、会員18名（委任含む）の出席で行われ、新規会員の生産に取り組みやすい仕組み作り、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い農業生産活動を支援する環境保全型農業直接支払交付金制度の活用についても話し合いました。

総会では、鈴木生産組合長が「昨年は米価も見直しましたが、高齢化が進む中ですが、楽しく生産に頑張りますよ。」とあいさつ、続いて来賓として



下郷農協矢崎組合長が、「昨年は交流会などを通じ食育や販促活動に取り組んでいただきました。また、山崩れ災害で農業資材を失った会員生産者もいち早く米作りに復帰され、改めて農家の生産意欲の強さを感じました。」とあいさつされました。

議事では、無農薬米に取り組む生産者が増加したことや、意欲を持った農家が規模拡大を行ったり、新規会員になって生産に取り組みやすい仕組みについて、また品質向上のため全会員を対象に土壌検査を実施するなど、食育活動と合わせ健康米をアピールする様々な取り組みについて話し合いました。

なお、総会後に第一回役員会を開催し、組合長に鷹崎満行さんを選出しました。

健康米生産組合はこれからも消費者の皆様「美味しい」と「安心」をお届けできるように生産に励んでいきます。

（事務局・松岡）

「次世代へ繋げる組合のあり方」を検討

心待ちにする消費者の期待に応えるため

野菜組合が総会と学習会開催

2月21日、下郷有機野菜生産出荷組合（鷹崎満行組合長・会員55名2法人）が総会を会員41名（委任含む）の出席で開催しました。

総会では鷹崎組合長が「1年間の総括と、今後の野菜組合のあり方や次の時代（次世代）につなげていくための話し合いをしたい。」とあいさつ、来賓として下郷農協矢崎組合長が、日頃から産直への野菜供給や産直消費者との交流会参加にお礼を述べるとともに、「農協にとって『野菜は農産物の主力商品』であり、生産強化をしていく上で生産力・所得向上に協力していきます」とあいさつされました。続いて議長に末国勲男さんを選出し各議案について検討、鷹崎組合長から今後の生産強化について補助事業（環境保全型農業直接支払交付金）の活用やGAP（Good Agricultural Practice：より良い農業生産に取り組みむこと。）の説明、指導販売部長から、ここ5年の野菜生産出荷量（金額）の推移や生協向け野菜セットの供給比較表を用いて、消費者がどれだけ下郷の野菜を心待ちにしているか

など、生産者への期待の高さを話しながら協議を進めました。

◆ 「高齢化」の課題は生産者にとってネックになっていて、「新しいこと」に取り組む熱意が沸きにくい状況もありますが、農協や農家の力だけでは解決できない問題については、有機農業・少量多品目の栽培方法と行政の農業政策等をすり合わせながら、生産の維持・拡大、所得向上に向けた5年・10年後のビジョンを早急に策定する必要性を強く感じました。

（事務局・森山）



「次世代につなげたい」と話す鷹崎組合長

産直品使った 料理会と意見交換会

産直の会が会員交流

3月4日に西小倉市民センターで、北九州の産直消費者組織「下郷有機農業産直の会」（葉山牧子会長）が、会員11名が参加して会員交流会を開きました。

農協からは矢崎組合長と担当の食肉加工部長が参加（生産者は急きよ欠席）、農協の産直商品を使った料理会のあと楽しく食事をしながら産直会員らと交流しました。

参加した会員からは、「高齢になって食事作りが億劫になる時があるので今日の料理会は役に立った」「チキンボールは重宝」「甘酒は絶対に農協の商品が美味しい」などの意見のほか、ヨーロッパと比べた日本の農薬使用量の心配や、精子の数の減少による若い人の不妊問題等、食料・農業に関する幅広い貴重な意見が出されました。

これからも、農協商品への期待や産直配送への感謝の気持ちに応えられるよう、生産に力を入れてより良い安全な商品を届けていきたいと思います。

（担当・横山）



ふれあいの店で
ご覧ください！



『地域でまなぶ』

中津南高耶馬溪校生徒の就業体験記

「下郷地域での『学び・熱い思い』を冊子に込めて」

中津南高等学校

耶馬溪校では、2年前に学校設定科目「地域産業基礎」を開設、「地域の歴史や文化」「地域の産業」を机上学習に止まる

事なく、自分たちで地域に入り就業体験活動を通じて地域の魅力や課題に触れ、問題提起や情報発信を行う学習に取り組んでいます。

今回、「下郷地域」の産業を学ぶため、情報会計コースの2年生14名が下郷農協とつながりの深い下郷地区8つの就業体験活動にチャレンジ、活動の成果を目に見える形で残そうと冊子制作にも取り組みました。

取材・体験の受入先として完

成した冊子を頂きましたので、少しでも多くの組合員や地域の方々にも目を通していただき、「慣れ親しんだ下郷地域の魅力の再発見」につながればと思います。購買ふれあいの店内にも置いてありますのでぜひご覧ください。（インターシッピング下郷農協、山崎牧場、レストランサルデイナス、とくら家のたべるもの、麦部会、サツタヤード、奥江農場、豆岳珈琲）

購買ふれあいの店

「新入学おめでとう」 キャンペーン

新入学の児童・生徒の皆さま、ご入学おめでとうございます。ワクワク・ドキドキの学校生活がスタートしますね!!

そこで、ふれあいの店では「新入学おめでとうキャンペーン」を4月30日まで行います。

これからの学校生活を頑張って楽しく過ごせるように、この4月に入学される耶馬溪町在住の新入生（小・中・高校生）ご本人がご来店いただければ「耶馬溪牛乳（青）1ℓ・カフェオーレ1ℓ・飲むヨーグルト500ml」の中から好きな商品を1つプレゼントします。

入学式が終わったら下郷農協へGO~!!
下郷農協もお祝いします(#^. ^#)

お誕生日は下郷農協へ行こう キャンペーン

4月1日から「お誕生日は下郷農協へ行こう~」という企画を始めます。お誕生日と前後1日の3日間にご来店いただき、2,000円以上お買い上げ毎にポイント2倍にて対応いたします。（但し1回のみ対応）

何歳になってもお誕生日は嬉しいものです。そこで下郷農協も素敵な一日になるように協力させていただきます!! ご来店の際はお誕生日が確認できる「免許証・保険証」などをご持参下さい。



3月企画 ご好評いただきました!

3月のふれあいの店企画「ひな祭り企画」（甘酒サービス）、「ホワイトデー企画」（ハート型おからクッキープレゼント）は、おかげさまでご来店の皆さまに大変喜んでもらえました。これからも、地域の皆さまに喜んでもらえる企画を考えていきますので、ふれあいの店をたくさんご利用ください。



特注品注文時のお願いについて

お肉（黒毛和牛・耶馬溪黒豚・冠地どり）の特注品ご注文については、準備の都合上できるだけ3日前（平日）までにご連絡いただければ、「ブロック肉・焼肉用・しゃぶしゃぶ用」など対応が可能です。（一部品薄の場合がございますので予めご了承ください。）

お花見の季節になり、ご家族やお友達とバーベキューをする機会もあるかと思えます。その時は、ぜひふれあいの店をご利用下さい。

その他、何かございましたらお気軽にお声かけください。

購買ふれあいの店

直通電話：0979-56-2225

営業時間：平日 8:30~18:00

土・日・祝日 8:30~17:00

④GWは別途ご案内を確認ください。

☆ゴールデンウィークの営業のご案内☆

	4月27日	4月28日	4月29日	4月30日	5月1日	5月2日	5月3日	5月4日	5月5日	5月6日	5月7日
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
ふれあい店	8:30~ 17:00	8:30~ 17:00	8:30~ 17:00	8:30~ 17:00	8:30~ 17:00	8:30~ 17:00	休業	休業	休業	10:00開店 ~17:00	通常
信連窓口	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	通常9:00~ 15:00
A T M	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00	8:45~ 19:00
野菜受取	9:00~ 10:00	9:00~ 10:00	8:00~ 10:00	8:00~ 10:00	8:00~ 10:00	8:00~ 10:00	8:00~ 10:00	9:00~ 10:00	9:00~ 10:00	8:00~ 10:00	8:00~ 10:00
産直配送	通常	通常	中津便 大分便	中津便 大分便	中津便 大分便	中津便 大分便	中津便 大分便	中津便 大分便	中津便 大分便	通常	通常
診療所	診療8:30~ 17:00	休診	休診	休診	休診	休診	休診	休診	休診	休診	休診
デイケア	通常	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	通常
末廣石油店	通常通り 7:00~18:00	休み	休み	営業 7:00~18:00	営業 7:00~18:00	営業 7:00~18:00	休み	営業 7:00~18:00	休み	休み	通常通り 7:00~18:00

<お問い合わせ先> 購買ふれあいの店（直通）：56-2225、JA大分信連下郷出張所：56-3010
 指導販売部（野菜受取等）：56-2630、企画部（お客様センター）：56-2888
 末廣石油店：56-2496、下郷診療所：56-2361

理事会だより

2月27日、第11回定例理事会を開催しましたので、議案および協議内容の一部概要をお知らせします。

報告事項： 耶馬溪地域買物支援委託事業の受託について

第一号議案： 1月決算承認の件について

第二号議案： 財務改善計画書の承認について

第三号議案： 事業運営資金に係る借入申込みについて

第四号議案： 末廣石油店の経営継続に向けた支援策について

その他

- ・ 報告事項の耶馬溪地域買物支援委託事業の受託については、中津市（耶馬溪支所）へ同事業（移動販売サービス）の契約申請を行い、2019年4月から農協購買部門が受託対応する方向で詳細の協議・検討を進めていることが報告されました。
- ・ 第一号議案の1月決算承認の件については、事業利益3,361千円の計画に対し△9,663千円で13,024千円の未達成となりました。事業利益は計画対比で収益部門のうち貸付17,398千円（戻入益含む）等が達成、牛乳7,285千円・食肉4,489千円・診療所4,040千円・販売3,265千円・販売商品3,135千円・農産2,993千円・購買1,938千円等が未達成となりました。
- ・ 第三号議案の事業運営資金に係る借入申込みについては、JA大分信連より2億円を極度額として当座貸越形式で事業運転資金の借入が出来る様、理事会付議・承認を受けました。
- ・ 第四号議案の末廣石油店の経営継続に向けた支援策については、同店より「諸般の事情により継承者の募集は出来なくなった」旨の申出があり、再度、末廣石油店が引き続き事業継続を行うための支援策案を付議、検討の結果、支援対応等については継続審議としました。
- ・ その他の事項では、2019年1月実績を受けての3月末決算見込み、および2019年度事業計画の事業方針と数値目標の素案概要が理事会に示されました。

読者プレゼント

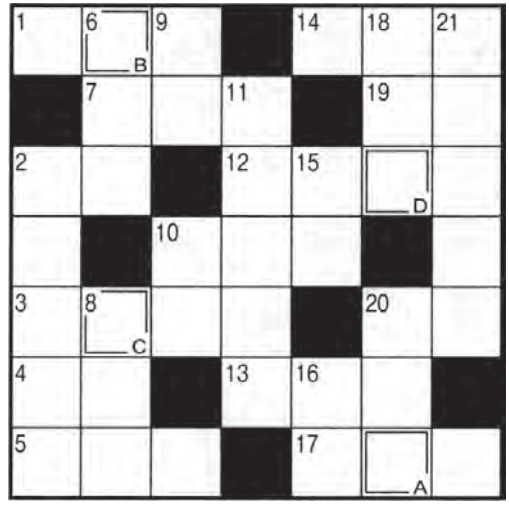
パズル?

頭の体操



Q 二重マスの文字をA~Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

- タテのカギ
- 2 お酒にのまれている人
 - 6 先祖の冥福を祈り、追善——を行うた
 - 8 眼鏡のフレームにはめ直す
 - 9 両手と両足のこと
 - 10 彼は質問に——なく答えた
 - 11 首の前部にある出っ張り
 - 15 牧場の周りによく立てられています
 - 16 踏むことでよく育つ穀物
 - 18 楽しいとすぐに過ぎてしまいます
 - 20 阿寒湖の物は特別天然記念物
 - 21 一角獣とも呼ばれる想像上の生き物



先月号のこたえ

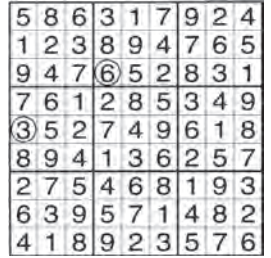


先月号のこたえ 「ホワイトデー」
 当選者 町内金吉 石井 健 様

ヨコのカギ

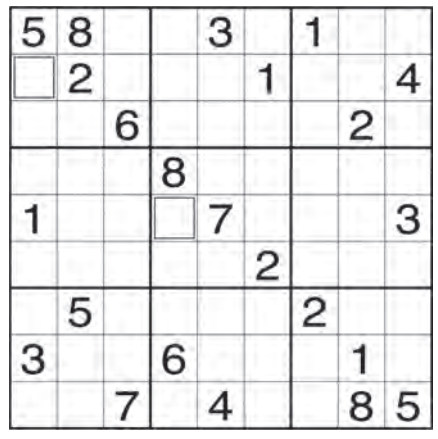
- 1 春の山菜の一つ。スギナの胞子茎です
- 2 和・——・中の料理が味わえるレストラン
- 3 絵の具を混ぜ合わせるときに使う板
- 4 開店祝いに胡蝶(こちょう)——を贈った
- 5 水が湧き出てくる所
- 7 奈良県の桜の名所
- 10 あまり飾り気がありません
- 12 北海道で生まれた馬や人をこう呼びます
- 13 火のない所に——は立たぬ
- 14 米寿は数え年88歳のお祝い、——は77歳のお祝い
- 17 「!」は感嘆符、「?」は——符
- 19 はさみを振りつつ横歩き
- 20 一、十、百、千、——

先月号のこたえ



先月号のこたえ ③+⑥=9
 当選者 福岡市早良区 若林 佳代子 様

解答は次号で



①《数独のルール》
 ①空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
 ②タテ列(9列)、ヨコ列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つ)のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

Q 二重枠に入った数字の合計はいくつ?

数独(すうどく)

応募方法

クイズの正解者の中から抽選でそれぞれ一名、下郷農協の商品をプレゼントいたします。ふるってご応募ください。

応募締切は二〇一九年四月二十日(必着)です。

- ① クイズのこたえ
- (パズル? 頭の体操の場合) クイズのこたえ 数字の合計 (数独の場合)
- ② 住所・氏名・電話番号
- ③ 下郷農協へのご意見ご要望など以上をご記入の上、ハガキの方は〒八七一一〇四三一

大分県中津市耶馬溪町 大字大島 二一五一四
 下郷農協 企画部 宛
 Faxの方は
 ○九七九一五六―二八八九

*個人情報他者への開示は一切致しません
 が当選者のみ紙面で公表させていただきます。

当選者には農協商品をお届けします。

ふれあいの店に応募箱を設置しました。
 たくさんのお応募お待ちしております!!

